

同志社大学

2016年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2017年3月8日提出

所 属	職 名	氏 名
免許資格課程 センター	准教授	児玉 祥一
研 究 題 目	1. 学習意欲を高める解釈型歴史学習の教材開発 ー歴史的思考力の育成とICT活用ー 2. アクティブラーニング型授業の研究 3. 教職の研究 教員養成と教師教育	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2016年度の研究テーマの一つである1の「学習意欲を高める解釈型歴史学習の教材開発 歴史的思考力の育成とICT活用」についてであるが、2016年8月に神奈川県立柏陽高等学校における高大連携授業「日本史サマーセミナー」公開授業（柏陽高等学校の生徒を中心に他校生を含め40名）の参観及びその後の授業検討会への助言者としての参加を求められた。県内から参加した高校教員と授業検討の中でテーマ1について共同で開発していくことを提案・了解を得られた。2016年11月には昨年が続いて神奈川県立元石川高校において、アクティブラーニング型の日本史授業の助言者として参加し、授業後にアクティブラーニングについての解説と歴史的思考力の育成が求められる意義について解説した。この二つの高大連携授業を通して、歴史的思考力の育成とICTの活用を目的とした教材開発や授業開発を進めた。次年度以降も神奈川県教科研究会社会科部会歴史分科会との連携を深め、このテーマの研究を推進していくこととする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 児玉祥一「社会科の学力とは」 『京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報』第5号 京都教育大学大学院連合教職実践研究科編集委員会 p129 -p130 2016年3月 井上雅彦、杉本和彦、浅井和行、児玉祥一、他5名「京都連合教職大学院におけるカリキュラム改革の成果と課題 ー授業力高度化コースを中心にしてー」 『京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報』第5号 p35 -p50 2016年3月 桶谷守、小林稔、橋本京子、西本薫 編 浅井和行、<u>児玉祥一</u>、他30名「教職大学院における実地教育の実際」 『教育実習から初任期実践までの知』 教育出版社 p125-p127 2016年3月 児玉祥一 『おはなし日本の歴史 17 近代国家をつくる』 岩崎書店 p1-p31 2016年3月 	